

中根 寛《カタルニアの農家》1971年

油彩画の魅力

—多様化する手法—

バロック絵画から岡本太郎まで

2011年11月30日水-12月18日回

(休館日:月曜日)

午前10時～午後6時〔入館は午後5時30分まで〕

観覧料：一般 300円／小・中学生 100円

主催：岡崎市美術館 後援：岡崎文化協会／岡崎美術協会

※市内の小・中学生、各種障がい者手帳所持者とその介助者、
Withカードの交付を受けている方は無料

JRご利用の場合 JR岡崎駅東口より康生方面行き名鉄バスで8分
名鉄をご利用の場合 名鉄東岡崎駅バスターミナル④番乗り場よりJR岡崎駅前方面行き名鉄バスで8分
※いずれをご利用の場合でも「岡崎警察署前」下車徒歩5分 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

フェルメールの
師匠といわれる
ブラーメルの
作品公開!!



レオナルド・ブラーメル《キリストの割礼》1658年



岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3 (岡崎警察署東隣) TEL.0564-51-4280

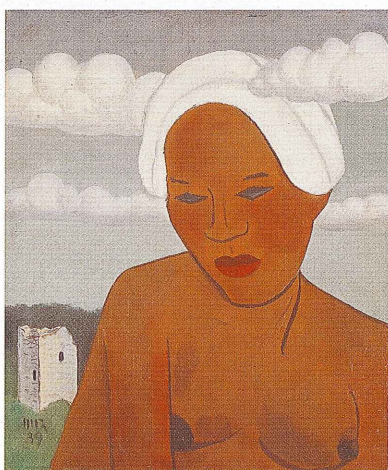
油彩画の魅力 -多様化する手法- バロック絵画から岡本太郎まで



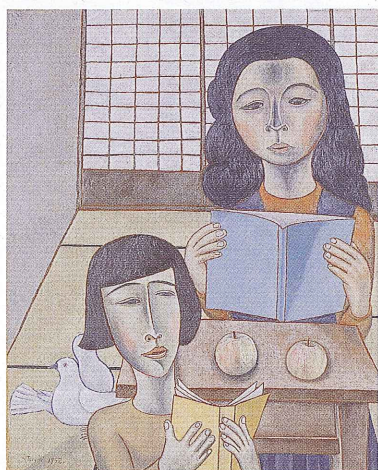
ジャン=バティスト=ナティエ 《アンジェリカとメドロ》1710年



アンドレドラン 《狩獵》1945-50年



マンレイ 《アディの肖像》1939年



北川民次 《二人の平和な少女たち》1952年

油彩画も近年では、様々な技法が試みられており、その多様性が注目されます。本展では、油彩が広く使われるようになったバロック時代の絵画から、20世紀に写実的に描かれたもの、印象派風に描かれたもの、そして戦後の抽象表現まで、様々な油彩画のスタイルを、岡崎市所蔵の作品から厳選して、約70点を一堂に展覧します。

特にフェルメールの師匠と目されているレオナルト・ブラーメルは、後輩にあたるレンブラントの画風にも影響を与えたといわれ、今回出品される《キリストの割礼》は光と影の表情が見事です。ルカ・ジョルダーノの《大天使ミカエル》など、迫力ある作品から、ロココ時代の装飾的なジャン=バティスト・ナティエ《アンジェリカとメドロ》まで、宗教的・神話的作品をご紹介します。

その後、画家たちは静物画や風景画、人の動きやその美しさを、油彩絵具を使って描くようになります。そして現代では、眼には見えなくとも心に浮かぶ情景などを描いた作品が登場します。本展では油彩とは思えない繊細なものから大胆な表現まで、油彩画の魅力をお楽しみください。



堂本尚郎《絵画》1957年

岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3
TEL 0564-51-4280

■JRご利用の方/JR岡崎駅東口より康生町方面行き、名鉄バスで8分

■名鉄ご利用の方/名鉄東岡崎駅・東岡崎バスターミナル④番乗り場、JR岡崎駅前方面行き名鉄バスで8分

※どちらの方も「岡崎警察署前」下車 徒歩5分

●駐車場には限りがございますので、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。

